

国家検定型式番号	受第28～9号				
自主評定型式承認番号	A-16-10				
主な機能	自動試験機能、部屋番号表示機能 液晶ガイド機能、音声ガイダンス機能 発報階音声メッセージ機能 連動設定PC対応、自己診断機能 非常放送連動機能付 地区音響逐次鳴動機能付 地区音響拡大警報機能付 回線種別切替機能（自火報／諸警報） プッシュトーク機能 増設スピーカー連動機能 履歴確認（液晶）機能 （発報／操作／トラブル）				
回線数	自火報兼用 40回線 自火報防排煙兼用 40回線				
地図版サイズ	A2縦 サイズ				
共通規格	常用電源	AC100V 50/60Hz (P1-P2) 消費電力 警戒時最大 65VA 警報時最大 185VA	自火報定格	感知器接続数 (個/回線)	<p>終端器が終端抵抗20kΩの場合</p> <p>A:熱感知器（電子式自己保持タイプ）：20個まで B:煙感知器（1種、2種、3種）：7個まで C:煙感知器（2信号）：5個まで D:光電式分離型感知器：接続不可 E:差動式分布型感知器（熱電対式）：1個 F:炎感知器：1個 G:PX感知器+PX発信機：7個</p> <p>上記感知器が混在する場合、上記条件に加え $A+4C+\frac{8}{3}(B+G)+20F+16E\leq 20$ を満足すること 光電式分離型感知器は接続不可</p> <p>終端器がPXアドレス付終端器、又はPX発信機の場合</p> <p>A:熱感知器（電子式自己保持タイプ）：80個まで B:煙感知器（1種、2種、3種）：63個まで C:煙感知器（2信号）：40個まで D:光電式分離型感知器：1セット※ E:差動式分布型感知器（熱電対式）：10個 F:炎感知器：8個 G:PX感知器+PX発信機：63個</p> <p>但し、PX感知器（2信号）は20個まで 上記感知器が混在する場合、上記条件に加え $A+4C+\frac{8}{3}(B+G)+20F+16E\leq 168$ を満足すること 光電式分離型感知器と他の感知器は混在不可 ※終端器がPX発信機の場合は、接続不可</p>
	予備電源	DC24V 4000mAh 受託評価適合品 ニッケルカドミウム蓄電池 （充電方式：トリクル充電 充電電流80mA）			
	副受信機 電源・音響	DC24V 220mA (I+, IB+ - I-)			
	副受信機 ※1	無電圧接点出力 (IC-11...130) 接点容量 DC30V 1A			
	表示灯	DC24V 840mA (U+-U-)			
増設スピーカー	配線長 φ0.9:50m以下 φ1.2:100m以下 WQN970W (3台まで) 又は EC95352 (1台まで) （※パナソニック製）				
自火報定格	感知器電圧・電流	DC30V 短絡電流 38mA 外部配線抵抗 往復50Ω以下 (Cn-L1...L80) 最遠長2Km			
	終端器 ※2	終端抵抗器 10kΩ 終端抵抗器 20kΩも対応可能 PXアドレス付終端器 (NSY453) PX発信機			
	感知器接続数 (個/回線)	蓄積型感知器は接続できません。 熱感知器（電子式自己保持タイプ）以外 （一般熱感知器（接点式）・差動分布型感知器（空気管式））は、 1回線あたりの接続数に制限はありません。 PX感知器（2信号）は、同一回線にPX以外の感知器・ 発信機との混在接続はできません。 終端器が終端抵抗20kΩの場合 A:熱感知器（電子式自己保持タイプ）：80個まで B:煙感知器（1種、2種、3種）：30個まで C:煙感知器（2信号）：20個まで D:光電式分離型感知器：1セット E:差動式分布型感知器（熱電対式）：5個 F:炎感知器：4個 G:PX感知器+PX発信機：30個 但し、PX感知器（2信号）は20個まで 上記感知器が混在する場合、上記条件に加え $A+4C+\frac{8}{3}(B+G)+20F+16E\leq 80$ を満足すること 光電式分離型感知器と他の感知器は混在不可			
	蓄積時間	公称蓄積時間 60秒 煙感知器の場合 60秒 熱感知器の場合 10秒			
	非常放送連動 ※4, 5	無電圧接点 (EC-EF, EA1...EA25) 接点容量 DC30V 1A			
消火栓始動	無電圧接点 (H1-H2) 接点容量 DC30V 1A 始動確認灯 (24V 5mA) (HL1-HL2)				
火災代表移信接点	無電圧接点 (Fc1-Fa1・Fb1) (Fc2-Fa2・Fb2) (Fc3-Fa3) (Fc4-Fa4・Fb4) (Fc5-Fa5) 接点容量 DC30V 1A 個別移信停止用オプションスイッチ 5回路 (OP1~OP5)				
防排煙定格	ロック接続容量 DC24V 1回線あたり最大容量2A 全回線同時作動最大容量2A (DC-D41...D80)				
諸警報定格	作動音響装置 警報音（断続音） 70dB以上				
	諸警報電圧・電流 DC24V 短絡電流 5mA 外部配線抵抗 往復50Ω以下 (NC-N1...N5)				
	諸警報音響装置 警報音（断続音） 70dB以上				

型式番号	受第28～9号	制定日	2020年10月 1日	改	日本ドライケミカル株式会社
種別	P型1級受信機 (蓄積式及び自動試験機能付)	品名	PX地図式受信機 P型1級複合受信機80回線（自動試験機能付） 地図式（A2縦）自立型 仕様書	品番 図番	NBP152BEB80 3Y-07201-AP-80L 1/2

使用周囲温度	0~40℃	
質量	約150kg	
適用図面	外觀図	3A-07201-AP-80L
	操作部詳細図	3A-07198-AP-FU
	内部回路図	3S-07198-AP

FP2TG(ver4)受信機構成設定
※6

	自動試験	有
	プリンタ	なし
回線設定	感知器総回線数	80
	防排煙回線数	40
	地区音響出力数	25
	移信出力数	30

その他

付属品：電話機 1台

※1. 131以上に出力を増やす場合は、別売の移信用リレーユニット30回線を受信機に取り付けたうえで、受信機と副受信機の接続を行ってください。

※2. 20kΩ終端抵抗器を接続する場合は、ソフト設定により、終端器設定を「20K」に、アドレス付終端器を接続する場合は、「AD64 シュウタンキ」に、発信機を接続する場合は、「AD64 タンマツ」にしてください。

※3. 非常放送側の接続端子に終端抵抗器10kΩを接続してください。地区音響装置は、自動試験機能対応音響装置（NYB915 EXB, BVR92501（パナソニック製））音響装置用終端器（NYY915）が必要です。また、ソフト設定により、地区音響出力を空き回線（導通機能無）に設定が可能です。

※4. （B1・・・B25）と（EA1・・・EA25）は端子を兼用し、ジャンパ設定により受信機一括で切替えます。

※5. 無電圧接点（EC-EF）は発信機発報、または、第2報目の感知器発報の場合、スプリングラフ出力時に出力されます。

※6. パソコン上の専用ツール（FP2TG(ver4)）で作成し、SDカードに出力した設定データを受信機に読み込むことができます。FP2TG(ver4)で受信機の設定データを作成する場合は、FP2TG(ver4)の受信機構成設定を間違わないよう正しく行ってください。正しくない受信機構成設定で作成した設定データは、受信機に読み込むことができません。

- (ご注意) ・蓄積型煙感知器は接続できません。
- ・電話機は、受信機内に収納することができます。
 - ・受信機をお取替される場合、現行受信機では、表示灯・地区音響装置・総合盤の電源容量が不足する場合があります。お取替前に必ず現在接続されている表示灯・地区音響装置・総合盤の消費電流をご確認ください。
(表示灯・地区音響装置・総合盤も現行商品にお取替することをおすすめします。)
 - ・受信機には、駆動方式が電磁式でない地区音響装置を接続ください。(電磁式の場合、受信機内部回路を壊す恐れがあります。)
 - ・SDカードは付属していません。別途ご購入ください。
パナソニック(株)製のSDカードあるいはSDHCカードをお使いいただくことをおすすめします。

型式番号	受第28~9号	制定日	2020年10月 1日	改	日本ドライケミカル株式会社
種別	P型1級受信機 (蓄積式及び自動試験機能付)	品名	PX地図式受信機 P型1級複合受信機80回線(自動試験機能付) 地図式(A2級)自立型 仕様書	品番 図番	